

シロチドリ チドリ科

かいひん ひ がた こ がた きゅうていし
 海浜や干潟にすむ小型の野鳥で、走っては急停止し、急に方向を変えるなどしてエサをとっている姿をみることができます。

県内では1年中見ることができますが、最近の海岸環境が悪くなってとても減ってきています。



生態 など

「ピュルルッ、ピュルルル」と聞こえる声で鳴きます。4月から7月頃にかけて、砂浜や川の下流部の砂地や草の間で繁殖をします。小さなこん虫やクモ類、ミミズ、ゴカイ、小型の貝類、ヨコエビなどを食べます。

調べやすい時期

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
					生息						
子育て											

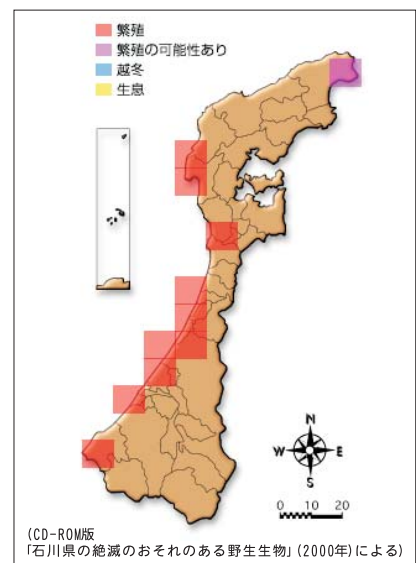
県内の分布

県内の砂浜海岸に広く分布しています。

見分け方のポイント

体の全長は17センチくらいです。

体の上面は灰色がかった茶色で、下面は白色をしています。チドリ類は他にもいろいろありますが、砂浜で見られるのは、まずシロチドリです。シギ類とのちがいは、クチバシで地面をつつきながら歩かないことです。



	シロチドリ	シギ類 (例 ハマシギ冬羽)
大きさ	スズメよりやや大	スズメ大からハト大まで
首・くちばし	短かめ	チドリ類より長い
しぐさ	エサをとると頭をあげ、数歩歩いてまたエサをとる。	頭を下げたまま、歩きながらエサをとる。